



平成 18 年 5 月 12 日

各 位

埼玉県川口市飯塚一丁目 18 番 8 号
株式会社アドミラルシステム
代表取締役会長兼社長 丸山 治昭
(コード番号: 2351 東証マザーズ)
問合せ先 常務取締役 青木 邦哲
(Tel:048-259-5111)

平成 18 年 3 月期 通期決算ダイジェスト

Topics

連結： 過去最高の当期純利益を記録（142 百万円、前年同期比 147.1%）。
本年 3 月より社団法人日本野球機構承認オンラインベースボールゲーム
「ドリームベースボール」提供開始。
単体：売上高、経常利益、当期純利益において過去最高の業績を記録

【通期業績概要】

当連結会計年度（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）における連結売上高は、**過去最高の売上高となる 1,091 百万円（前年同期比 108.6%）**となりました。

売上高が増加した要因としましては、インターネットサーバサービス事業においては、既存サービスの継続的強化を実施するとともに、セキュリティ面を強化したモバイル対応 E コマース支援サービス「ショッパー」及びオンライン予約・受付管理システム「e リザーブ」の提供を開始したことにより、顧客を獲得したことによるものであります。

また、デジタルコンテンツ事業においては、アフィリエイトプログラムサービス「Leaffi」及びウェブコンテンツの企画・制作の両サービスにて、ほぼ予定通り順調に推移してまいりました。

また、新規サービスとしましては、平成 18 年 3 月より当社グループ会社である㈱スポーツレイティングスより、社団法人日本野球機構承認として初となるオンラインベースボールゲーム「ドリームベースボール」の提供を開始し、平成 18 年 4 月末日現在 45,000 人を超えるユーザー様にご利用いただいております。

当連結会計年度中におきましては、「ドリームベースボール」の開発に係るコストが発生したことに加え、知名度向上並びに利用者獲得を目的とした広告宣伝活動を 2 月より開始し、先行的なコストが発生いたしました。

利益面につきましては、「ドリームベースボール」に係る先行的コストが発生したものの、売上高が順調に増加した結果、連結営業利益及び連結経常利益はそれぞれ 246 百万円（前年同期比 100.7%）、260 百万円（前年同期比 106.2%）と増益となり、連結当期純利益につきましては、**142 百万円（前年同期比 147.1%）**と順調に推移いたしました。

連結業績	売上高	経常利益	中間純利益
平成 18 年 3 月期	1,091 百万円（108.6%）	260 百万円（106.2%）	142 百万円（147.1%）
平成 17 年 3 月期	1,004 百万円（135.9%）	245 百万円（129.4%）	96 百万円（89.5%）

【次期見通し】

次期における当社グループのサービス別事業活動計画は次のとおりであります。

（インターネットサーバサービス事業）

インターネットサーバサービス事業におきましては、既存サービスの充実化を図っていくとともに、事業者様が効率の良い業務を行うために必要となるアプリケーションを開発し、サービスラインアップの強化を図っていくことにより、売上及び利益の向上を目指していく方針であります。

（デジタルコンテンツ事業）

デジタルコンテンツ事業におきましては、前連結会計年度より提供を開始した「ドリームベースボール」のサービス提供を行うに当たって、ゲームの企画及び基幹となるプロ野球選手評価システム「BBR（Baseball Rating）」の開発は㈱スポーツレイティングスが行い、アプリケーションの開発は当社が行う等、それぞれの会社の強みを活かしたグループ相互間の連携を行ってまいりました。

今後も、グループ相互間の連携によって新たなデジタルコンテンツの提供を積極的に図っていく所存であります。

また、オンラインベースボールゲーム「ドリームベースボール」においては、スポーツニュースを扱うメディアを中心としたマーケティング活動を行っていくことにより、同ゲームの認知度向上並びにユーザーの獲得を行ってまいります。それとともに、社団法人日本野球機構承認のオンラインベースボールゲームである特性を活かし、プロ野球ファンの皆様が無永くご愛顧頂けるサービスを提供し続けることにより、顧客単価の向上を図ってまいります。

また、アフィリエイトプログラムサービス「Leaffi（リーフィ）」及びウェブコンテンツ制作の既存サービスにつきましても、新規市場の開拓を目的としたサービスラインアップの強化を図ることにより、同業他社との比較優位性を高め、売上及び利益の向上を目指していく方針であります。

次期事業活動計画におきましては、前連結会計年度より提供開始いたしました「ドリームベースボール」の売上及び利益が業績に著しい影響を及ぼす可能性が高いことが見込まれます。しかしながら、同サービスは社団法人日本野球機構承認としては初となるオンラインベースボールゲームであることなどコンテンツ関連の新規性の強い事業であること及び環境の変化が激しいオンラインゲーム市場にてサービスの提供を行っているため、同サービスにおける売上及び利益の予測を立てることは非常に困難な状況にあります。

よって、最低限度の売上高及び利益の予測を行うことが正確な業績予測を開示することに繋がると考え、本年3月末日現在のユーザー数を基準に同サービスの売上及び利益の計画を策定いたしました。

その結果、次期の連結業績見通しにつきましては、連結売上高1,180百万円（前年同期比108.2%）、連結経常利益270百万円（前年同期比103.8%）、連結当期純利益150百万円（前年同期比105.6%）を予定しております。

次期における1株当たり配当額につきましては、500円を予定しておりますが、当社グループの方針として、配当性向20%～30%を一応の目安とし、1株当たり当期純利益の増加に伴って、1株当たり配当額につきましても継続的向上に努めていく方針であります。

また、当社グループが属するインターネット産業は新興産業の一つであり、環境の変化が著しい状況にあります。そのため、同産業の中で企業規模を拡大していくためには、成

長性のある企業との業務提携や資本提携、もしくは同業他社又は事業的相乗効果の見込める企業との M&A を検討していくことが必要であると判断しております。

当期におきましても、グループ相互間の連携を強めていくとともに、さらなる業容の拡大および新規事業の参入を目的として、M & Aを中心とした資本提携および業務提携を積極的に検討してまいり所存であります。

なお、本日発表の業績予想にはM & Aによる業績の変動は見込んでおりません。

参考：平成 19 年 3 月期通期業績予想（連結・単体）

	売上高	経常利益	当期純利益
連 結	1,180 百万円 (108.2%)	270 百万円 (103.8%)	150 百万円 (105.6%)
単 体	895 百万円 (105.3%)	233 百万円 (77.4%)	125 百万円 (82.3%)

(注) 本業績予想は、現在入手可能な情報から、当社の経営者の判断に基づき作成しております。したがって、実際の業績は様々な要因により本業績予想とは異なる結果となり得ることもご承知おきください。

また、公表された直近の予想値に対し、売上高が10%、経常利益もしくは当期純利益が30%以上乖離した修正予想値が算出された場合には、業績予想の修正を公表することといたします。

なお、詳細につきましては、当社ウェブサイト (<http://www.asj.ad.jp/>) に掲載しております「平成 18 年 3 月期決算短信(連結)」及び「平成 18 年 3 月期個別財務諸表の概要」をご参照ください。